

第 14 回日本涙道・涙液学会総会

募金趣意書

会 長 鶴丸 修士 (鶴丸眼科)

ご挨拶

謹啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、第14回日本涙道・涙液学会の学会長を務めさせていただきます、鶴丸眼科、鶴丸修士(つるまるなおし)と申します。

今回の「Tetra academic congress in Yokohama 2026」は、ご存じのように、従来フォーサムとして親しまれてきました学会から、構成が一部刷新され、アレルギーが新たに加わりました。それに伴い、気持ちも新たに、より包括的に時代に即した視点で眼科疾患に向き合っていく体制が整ったものと考えています。

昨今の涙液・涙道分野は劇的な進歩を遂げています。内視鏡を中心とした低侵襲手術の技術革新、画像診断や涙液機能評価の進展により、診療の質は大きく向上しています。そして、涙嚢鼻腔吻合術も鼻外法、鼻内法の手術治療は進化を遂げ、治癒率も格段に向上しています。

さらに、ブドウ膜炎、感染症、アレルギーといった今回一緒に開催させていただく領域との連携もますます重要となっており、学際的な情報交換の場として、本学会、“テトラ”が果たす役割は大きいと確信しております。

その中で、涙道・涙液としましては、臨床と研究の両立とそのアプローチという面に焦点を当てていきたい、と考えています。最新の研究成果と臨床知見の共有を通じて参加される皆様の今後の診療に役立つ多くの示唆が得られることを願ってやみません。

ご参加いただく皆様、関係各位、協賛企業の皆様に心より感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

学会運営は参加費をもって賄うべきではありますが、近年の物価高に加えて更に学会発表、教育には多大の費用がかかるのが現状です。質素儉約を旨として運営を行い、参加費を集めましてもまだ多額の不足が予想されます。つきましては、学会開催の趣旨を充分にご理解いただき、何卒貴社のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

諸費用ご多端の折、誠に恐縮ではございますが、諸事情をご賢察の上、何卒ご高配の程、重ねてお願い申し上げます。

なお、拠出いただきました協賛金について、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて了承いたします。

末筆ながら貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。

謹言

2025年7月吉日

第14回日本涙道・涙液学会総会
会長 鶴丸 修士
(鶴丸眼科)



開催概要

1. 学会名称

第14回日本涙道・涙液学会総会

※TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 として、第62回日本眼感染症学会、
第59回日本眼炎症学会、第9回日本眼科アレルギー学会学術集会と合同開催

2. 組織構成

会長：鶴丸 修士（鶴丸眼科）

副会長：吉富 文昭（福岡県眼科医会 会長）

主催：鶴丸眼科

〒833-0002 福岡県筑後市前津 60-1

3. 会 期

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026

2026年7月31日（金）～8月2日（日）

第14回日本涙道・涙液学会総会

2026年7月31日（金）～8月2日（日）

4. 会 場

パシフィコ横浜 ノース

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-2

5. 開催計画の概要

1) 日程表（予定）

日 程	朝	午 前	昼	午 後	夜
7月31日 （金）	—	—	—	開会式、一般講演	イブニングセミナー
8月1日 （土）	モーニングセミナー	一般講演、 特別講演	ランチセミナー	総会、 学術奨励賞受賞講演、 4学会合同シンポジウム、 一般講演	イブニングセミナー
8月2日 （日）	モーニングセミナー	シンポジウム、 一般講演	ランチセミナー	シンポジウム、閉会式	—

2) プログラム（予定）

- ・4学会合同シンポジウム
- ・特別講演
- ・シンポジウム
- ・学術奨励賞受賞講演
- ・一般講演

3) 参加予定数

約1,000名（TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 横浜として）

6. 収支予算

収入		支出		
収入項目	金額	支出項目	金額	備考
1. 参加費収入	¥5,856,000	1. 事務局関係費	¥3,403,755	
2. 共催費	¥5,709,000	2. 製作関係費	¥1,717,350	
3. 広告費	¥1,349,700	3. 招待者関係費	¥420,822	
4. 出展費	¥3,324,750	4. 会場費・施工費・会議費	¥9,178,785	
5. 寄附金等	¥3,000,000	5. 運営要員人件費	¥1,527,910	
		6. 映像機材関係費	¥1,935,000	
		7. 業務管理費	¥385,000	
		8. 予備費	¥670,828	
収入計	¥19,239,450	支出計	¥19,239,450	

7. 寄附金募集要項

- 1) 募金の名称 第14回日本涙道・涙液学会総会
- 2) 募金目標額 3,000千円(経費総額 19,239,450円)
- 3) 募金期間 2025年7月16日～2026年7月30日(会議前日まで)
- 4) 寄附金の用途 第14回日本涙道・涙液学会総会の準備及び運営の費用に充填
なお、拠出いただきました寄附金は各社が公表する事について了承致します。
- 5) 寄附金の申込先・振込先
オンラインによる受付となります。
本会ホームページ(<https://convention.jtbcom.co.jp/tetra2026/>)の、[協賛募集のご案内] ページより、お申込みください。
2026年5月以降にお申し込みをいただきました企業・団体様につきましては、企業・団体名の掲載が対応出来ない場合がございますので、予めご了承ください。

申込締切日：2026年7月30日(木)

<寄附金振込先>

振込先銀行:福岡銀行
八女支店(651) 普通1965381
第14回日本涙道・涙液学会総会 会長 鶴丸 修士
(ダイ14カインホルイトウ、ルイエキガツカイソウカイ カイチョウ ツルマル ナオン)

- 6) 税法上の取扱い
寄附金に対する免税措置はございません。

8. 寄附お問合せ先

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局内
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル8階
E-mail: tetra2026-sponsor@jtbcom.co.jp TEL:06-4964-8869
※お問い合わせは、原則E-mailでお問い合わせいただきますようお願いいたします。

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026

(第 62 回日本眼感染症学会、第 59 回日本眼炎症学会、第 9 回日本眼科アレルギー学会学術集会、第 14 回日本涙道・涙液学会総会)

協賛申込(オンライン)について

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 の各種協賛申込みは、オンライン登録にて受付いたします。

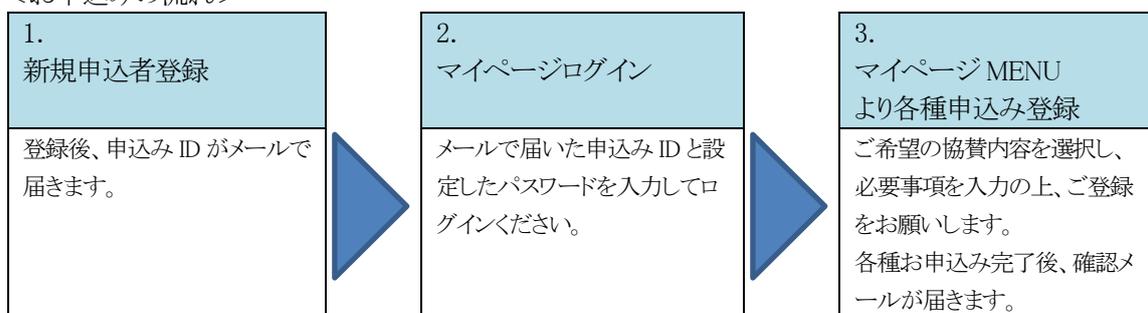
FAX の未着、お申込情報の誤入力等を防ぐため、お手数ではございますが、オンライン登録にご協力頂きたいお願い申し上げます。

インターネット環境のない場合は、運営事務局までお問合せください。

本会ホームページ内「企業の皆様へ」より、ご登録をお願いいたします。

ホームページ URL: <https://convention.jtbcom.co.jp/tetra2026/>

<お申込みの流れ>



※推奨ブラウザ

MicrosoftEdge 最新版、Firefox 23.0 以降、Chrome 28.0 以降

※個人情報の利用目的

お名前、メールアドレス等の個人情報は、協賛申込に関して、請求書、領収書、本件に関する連絡以外の目的には利用しません。又、個人情報は第三者へは開示いたしません。

【お問合せ先】

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局内

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階

E-mail: tetra2026-sponsor@jtbcom.co.jp TEL: 06-4964-8869

※お問い合わせは、原則E-mailでお問い合わせいただきますようお願いいたします。